

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー月信

No.3
2008
9

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com
ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 遠藤正之の過去ガバナー追悼
- 4 ————— ロータリアンは青少年の模範 新世代のための月間に寄せて
- 5 ————— 新世代月間に向けて「ローターアクトクラブの現況」
- 7 ————— 地区青少年交換委員会活動について
- 8 ————— 地区インターアクト委員会活動状況
- 9 ————— 特別寄稿 北海道洞爺湖サミットを終えて
- 10 ————— ロータリー財団セミナーに学んで
- 12 ————— 地区社会奉仕委員会ブロック意見交換会から見えるもの
- 14 ————— 第99回ロータリー世界大会報告
- 16 ————— 私の“Rotary Notes”
ロータリーの故郷
- 18 ————— ガバナー補佐レポート
「元気、活気、ヤル気」溢れる第3グループ紹介
- 19 ————— ガバナー公式訪問
- 22 ————— 新入会員のご紹介
- 24 ————— 地区委員会報告
- 25 ————— 2011-2012年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い
文庫通信
- 26 ————— 2009~2010年度 青少年交換留学生募集のお知らせ
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について
- 27 ————— 出席率・会員数
- 28 ————— 地区カレンダー(9月・10月)
- 29 ————— 地区大会記念行事へのお誘い

ガバナーメッセージ

新世代のための月間は、^た誰がための月間国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

9月は「新世代のための月間」です。インターアクト（IAC）やローターアクト（RAC）を提唱しているクラブは例会に招きましょう。交換学生のホストクラブは、ホストファミリー以外の会員との交流を企画しましょう。新世代との活動にあまり力を入れていないクラブもこれを機に、地域の若者と共にできる奉仕活動を検討してみましょう。というのが、今月のRI月間の主旨です。

9月だから新世代にこだわると困ることもあります。例えば、IACは高校生です。9月は新学期。平日・昼間が例会のクラブでは、来てもらうにも昼休みでは足りません。ゆっくりロータリアンとお話したり、せっかくだから卓話でもとなれば、授業を休んでもらうことになりかねません。そのため夏休みに例会へ来てもらうケースも聞きます。授業優先の高校生には、その方が現実的です。新世代“のための”月間でありながら、ロータリアンも学校も気を使う、誰がための月間なのでしょう。

斯様にRI月間は、ロータリーの様々な活動を1年間に並べて俯瞰してみましょう、というくらいに理解いただけると有効かと思われまます。若者にまつわる取り組みを考えるだけでも、9月が新世代のための月間に指定された甲斐があります。こうしてみると、新世代のための月間と謳いながら、実はロータリアン（が新世代について考える機会）のための月間、ともいえましようか。

私はロータリー・クラブに入会して4年目に、地区RA委員長を仰せ付かりました。当時、札幌西RCではRACを提唱しており、若手ロータリアンとしてアクター達と雪まつりで雪像を作ったり、フィリピンから来日したアクターと藻岩山に登ったりと汗を流したものでした。当時は28歳まで、その後30歳までに会員資格が延長されましたが、RACは減る一方です。全国的な傾向かと思いきや、クラブ数・会員数共に増加している地区もあるそうです。昨年、当時の地区RA代表を囲んでかつてのアクターが集まりました。往時の青年も立派な中年。その成長を見られる楽しみも、RACにはあります。地区ライラ委員も仰せ付かったことがあります。当地区で初めてRYLAを開くのに勝手がわからず、他地区に教わりに出向いたものです。

近年、当地区RYLAは復活・休止を繰り返しています。RYLAに真剣に取り組むには、地区ライラ委員会とホストクラブの連携が欠かせません。大勢の若者を宿泊させ、プログラムを練るため、準備・運営には人手も必要です。去年やったから今年も、という程度の認識では難しく、毎年度のガバナーに熟慮が求められます。自ら立ち上げに携わったRYLAを自らのガバナー年度に開催できないのは残念ですが、今年度も休止としました。次年度以降、RYLA復活にかけるガバナーの登場を期待します。

IAC、RAC、RYLAとくれば、青少年交換にも触れなければなりません。息子を豪州に派遣してもらった縁で、我が家でも受入学生をホストしてきました。家族ぐるみでお付き合いできたこともあれば、帰国後うんともすんとも言ってこない子もいます。いずれにせよ楽しい思い出です。

斡旋業者が増え、今や高校生の留学は珍しくなくなりました。ロータリーだからこそ安全に1年間暮らせる、という安心感を除けば、ロータリーでなければという時代ではなくなりました。4Dルールに対する現代の高校生の違和感。携帯やネットなどによる、交換学生間の誤った認識の伝達。各クラブ担当委員長さんは、ホストファミリー探しに奔走。志を持った高校生の派遣・受入を手伝っているのか、高校生に行っていただく・来ていただくという姿勢に変化していないか。ゆっくり考えてみたいものです。

今月の巻頭言、やや辛口仕様です。それだけ私の新世代に対する思いは強いわけです。辛口ついでに「ロータリーの友」。毎年9月号の特集が代わり映えしないことにお気付きの御仁は、かなり読み込んでらっしゃる。

遠藤正之パストガバナー 逝く

2008年7月24日逝去（享年77歳）



パストガバナー
遠藤 正之 氏

- 生年月日（出身地）1931年9月21日（室蘭市）
- 所属クラブ 札幌南ロータリークラブ
- 勤務先・役職 医療法人社団 遠藤小児科医院 理事長
- 主な略歴
 - 1958年3月 札幌医科大学卒業
 - 1963年3月 札幌医科大学大学院修了
 - 1963年4月 札幌医科大学小児科入局
 - 1969年9月 遠藤小児科医院開院
- 主なロータリー歴
 - 1971年4月16日 札幌南ロータリークラブ入会
 - 1983～84年度 " 幹事
 - 1994～95年度 " 会長
 - 1997～98年度 第5分区代理
 - 2000～01年度 国際ロータリー
第2510地区ガバナー
- メジャードナー
ポール・ハリス・ソサエティ
ベネファクター
米山功労者マルチプル（4回）

追悼記

遠藤パストガバナーを悼んで

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

遠藤先生は2000-01年度のパストガバナーを務められました。RIテーマが「意識を喚起しー進んで行動を」だった年度です。それから私まで8人のガバナーがあとに続いております。

石垣ガバナー年度には分区代理を務められました。私は当時、地区幹事（現在の代表幹事）として大変お世話になりました。

遠藤先生がガバナーになられてからの活躍ぶりを回想したいのですが、ちょうど私がロータリーを離れていたときで、残念ながら目の当たりにすることはできませんでした。それだけに失われた期間を補填すべく、遠藤先生にはガバナー心得をもっと教わりたかったという念が募ります。そんななかでも遠藤年度に着手され、現在まで続いているものを見ると、ご活躍の様子が窺えます。

たとえば、それまでの分区代理がガバナー補佐になりました。佐藤パストガバナー、渡邊ガバナーエレクトに大金地区代表幹事と、そうそうたる顔ぶれが遠藤ガバナーのもとで初代のガバナー補佐を務め上げました。札幌大通公園ロータリークラブの創立も、遠藤年度です。

ガバナーを終えられてからも、益々精力的でした。昨年末の次年度ガバナー補佐会議。地区研修リーダーの遠藤先生は、絵本「ハチドリの一ひとしずく」をスクリーンに映し出されました。山火事を消そうと一羽のハチドリが、くちばしに溜めた水を一滴ずつ運ぶ話です。その後の研修にも引用されるやに聞いておりましたが、結局これが最後になってしまいました。

2月の地区チーム研修セミナーには、ハワイでの息子さんの拳式から駆けつけてくださいました。その身体で海外まで、と驚いたものです。

遠藤先生が子どもたちを診察する病院の2階にあるガバナー事務所。そこから足掛け2世紀の、様々な取り組みが生まれました。その取り組みと一緒に、遠藤先生の穏やかな声と柔らかな表情も継承できれば。 合 掌

故 遠藤正之師の御霊前に捧ぐ

パストガバナー **岩城 秀晴**
(札幌南RC)

2008年7月24日の午後師のご逝去の報を受けて、私はしばし言葉を失った。7月21日には、師の病床を訪れ、御見舞申し上げたときには御元気であり、冗談を交えながら世間話を申し上げて御別れしたばかりであったからだ。間をおいて、我にかえって、現実を見つめた時に、師の顔と声が、私の頭を横切った。まことに悲しき現実であった。同時に、そして、昭和51年当時の思い出が、走馬燈のように走り去ったのでした。

私は師とは月に1度は必ず仕事上のことで御会いしていた。そして、医師としての診療所経営について、御相談させて戴いた思いです。その時に、ロータリーの会費の損金の不算入又は交際費となるかどうかの会話等でありました。

その時に、師は私にロータリーの入会を熱心に御推奨戴きました。当時のロータリークラブは、テリトリーが厳しくて、どこにでも入会できるということではなかったので、師を通して、スポンサーを探して戴き、私は札幌南クラブに入会できたのです。

「生のみが我らにあらず 死もまた我らなり 我らは生死を並有するものなり」

清沢満之（絶対他力の大道より）

羽部 大仁
(札幌南RC)

2008年7月24日午後1時13分遠藤正之パストガバナーは、77歳を一期に神様の国へ召されました。先生と親しくされた方は多く、私が出る幕などありませんが、お許しを頂戴して思い出の一端を述べることにします。

先生との出会いは、札幌南RC入会がご縁となりました。早い頃は子供達の主治医として土日返上で診て貰いました。私の血圧が高くなってからは主治医として、今年の地区協議会までお世話になっていました。

いつもハブちゃんと呼ばれて出掛けました。特に札幌南RCからガバナーをと“勝手連”なるものを立ち上げた一人でしたから、先生がノミネートされて以来恥ずかしながらガバナースタッフの一員としてお手伝いさせて戴きました。いや足手まといであつたかも知れませんが。

2000-01年度第2510地区ガバナーとしての先生は実に立派でした。RIのテーマは「意識を喚起し一進んで行動を」でした。文字通りの一年間であったと確信しています。この一年を「札幌南ロータリークラブ40周年誌」に回顧録として掲載されています。その一文をご紹介します。「地区リーダーシッププランの準用にあたり」と題された章に「地区内はリーダーシッププランのもとに12分区で運用されることになりました。最

加えて、師が2000年～01年度のパストガバナーとして、当時の虻田町の火山噴火災害もあり、その人道的プログラムを十分に奉仕されたものでありましたし、私もガバナーエレクトとして、御手伝いもさせて戴いたこともありました。以来、1年先輩のパストガバナーとして、地区大会、地区協議会には、研修リーダー・財団委員長として、第2510地区パストガバナーとして、その識見と能力を発揮されまして、地区のリーダーとして粉骨碎身、自己の業務を省みず、ロータリーの地区管理に御尽力されました。

また、昨年5月には、第4グループの1Mには、CLPについてのシンポジウムに参加して、これからのロータリーのあり方を切々と説かれておられました。唯々敬服の念に駆られた場面でもありました。

師は、残念にも志半ばにして病魔に侵されて、生命を落とされたことは、同志と致しまして、真に堪えられないところであります。もっともっと、師の御尽力によって、ロータリーの運営にますます輝かしいものが発揮されることが出来なくなったことが無念で一杯であります。

然し、師は立派な御子息も歯科医として御成長されて、これからの社会に御貢献できることと思います。

最後になりますが、師に対しての心からなる哀悼の意を捧げ御冥福をお祈り申し上げます。 合掌

初のパストガバナー補佐が12名誕生し、今ではお一人お一人の活動が目映り、懐かしい話し声が耳に響いてくるようです。本当に良く奉仕して下さいました。佐藤秀雄パストガバナー（千歳RC）も12名のガバナー補佐のお一人でした。（中略）一緒に奉仕していただいたクラブ会長・幹事さんに、分区に於いて卓越した指導力を発揮された12名のガバナー補佐に勿論私を支えてくれた札幌南ロータリークラブの会員お一人お一人に、そしてスタッフの皆さんに深甚なる敬意と感謝を申し述べた次第です。」と一年を感謝と思いやりに溢れる言葉で振り返っておられます。

先生は将に真のロータリアンでした。それは敬虔なクリスチャンであったことに起因すると思われます。先生の葬儀の折り堤牧師さんが、若い頃教会の医師団に加わりポリオのボランティアで活躍されたと申されました。以前先生からポリオについてそんな話を聞いたことを思い出しました。

その生涯をロータリーの奉仕に捧げられた先生は、カルロ・ラビツア元RI会長の言葉「周囲が速やかに新千年紀に移行する中で、私たちは20世紀に取り残される恐れがあります。」を引用して早急な変化を求めています。その変化については志半ばであったと思いますが、マンネリ化したクラブと地区の再生を天国から導いて下さることを念願して筆を置くことにします。遠藤先生永らくお疲れ様でした。先生との出会いとご指導を今生の宝として生きていきたいと思っております。ありがとうございました。

ロータリーアンは青少年の模範 新世代のための月間に寄せて

地区新世代委員長 松見 修二
(函館北RC)

■ 新世代

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代に将来の準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務であり、全てのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むように奨励されています。(1998年6月理事会会合、決定348号)

■ 新世代への奉仕は

・保 健

ポリオ・プラス、保健教育、幼児期発育、薬物とアルコール濫用の防止、エイズに対する認識の向上、障害者への支援、貧困プロジェクト、飢餓プロジェクト。

・人間的価値

地域社会における普遍的な人間的価値の推進、家族及び地域社会の模範としての行動、父母への助言者プロジェクト、家族にクラブ奉仕へ参加してもらうこと、異世代交流プロジェクト、文字教育プロジェクト、紛争解決プロジェクト、子供の権利に関するロータリー方針の支持、自分の時間を惜しみなく与えること。

・教 育

実用的な識字能力、奨学金、青少年交換、模擬国連、職業訓練、青少年のための就業経験とインターシップ、環境保全、地域社会における青少年のイメージ向上、新世代のニーズに対する地域社会の認識向上。

・自己開発

新世代のためのロータリー会議、助言者プロジェクト、インターアクト及びローターアクトクラブ、インターアクト及びローターアクトクラブ会員を対象とした指導力研修、ロータリー青少年指導者養成プログラム、地域社会における青少年諮問機関の設置、仲間支援プロジェクト、余暇の生産的な使い方の助長。

(1998年6月理事会会合、決定219号)

この様に新世代のプログラムは多岐に渡っていますが、その根源はクラブとロータリアン一人一人にあります。

20世紀は人類にとって文明の発達と成熟の時代でした。では21世紀はどんな時代でしょうか。地下資源に起因する利権と民族に絡む紛争、世界の内の貧困に苦しむ国(地域)では数秒に何人かの子供たちが亡くなっています。ロータリーは政治と宗教に不介入としていますが果たしてこれでロータリーが目指す世界平和は実現できるのでしょうか。この現実を新世代に適切に伝え、身近な新世代と接しこれからの社会を担う若者たちに自発的行動を促すように働きかけることがロータリー新世代プログラムの基本と思います。

新世代月間に向けて 「ローターアクトクラブの現況」

地区ローターアクト委員長 柳 孝一
(札幌南RC)

矢橋ガバナー、大金地区代表幹事からの要請を受け、急遽地区委員長を拝命いたしました柳です。2003-04年度から三年間同職を務めておりました。矢橋ガバナーの元、一年間ローターアクトクラブのため、精進してまいります。よろしくお願いいたします。

ガバナー月信への投稿依頼を受け、改めてローターアクトクラブとロータリークラブとの関係を考えて、現状を少々分析いたします。今回は、ロータリアンからローターアクトクラブへの関係から。

そもそもローターアクトクラブ(以下RAC)は1967-68年度国際ロータリーの理事会で「国際理解と奉仕活動を通じ指導力と良き市民育成の目的で青年のためのクラブを結成しそれを後援してゆく計画」を採択しました。1968年3月にアメリカで初めてのRACが誕生しました。これは良いプログラムと日本のロータリークラブがこのRAC計画



例会風景

に飛びつきました。遅れること僅か3ヶ月、日本にもRACが誕生します。同年7月我が第2510地区で岩見沢RACが、日本で2番目にクラブとして誕生しました。岩見沢RACは今年40周年を迎えます。その後、地区内にRACがどんどん誕生します。(周年事業の一環でRACを提唱した例が多いようです)詳しい資料が手元に無いので正確ではありませんが、地区内のRACクラブはピークで16~17クラブあったはずですが、それが今年度は8クラブです。なぜ半分まで減ってしまうのでしょうか?

結論からいうと「RACを作った後の、維持が大変」それに「クラブでRACに関わっているロータリアン以外、RACに対し関心が薄い(無い)」からだと考えます。

RACに関わるロータリアンは常に「RACの会員不足・会員増強」で頭を悩ませています。会員さえ何の心配なく集まって、決まった例会を行っていたら、「親睦や奉仕活動」は自動的に行われることは、想像できます。

元々卒業したインターアクターの受け皿として、誕生したRACですが、地区内でインターアクト出身のローターアクトは数名いるだけです。

その他、ロータリアンの子弟のローターアクト



海浜ゴミ拾い

一も数名おります。ロータリアン企業の従業員も数名、ROTEX・学友も数名で、一番多い例はローターアクターの知人・友人です。

会員不足は「30才卒業」というRACの会員規定がそうさせていることは、言うまでもありません。3～4年RACを経験してようやく、活動がおもしろくなってきてところで、自らの意志に反し、年齢退会をしなければいけないという、宿命があります。

それではどのようにすれば、いいのでしょうか？

決定打ではありませんが、まず提唱クラブはRACに対して関心を持つロータリアンを増やし、クラブ全体で支援・指導していくことが一番だと思えます。その方法はクラブ運営に合わせ、行われるべきだと存じます。クラブ全体がキーワードになります。是非その体制作りをお願いいたします。

最後に第2510地区の8クラブを紹介します。（設立順）

○岩見沢RAC（提唱岩見沢RC）

日本で2番目に誕生したRACで今年40周年を迎えます。

会員不足が最大の悩みか？積極的なロータリアンの指導が必要です。

○函館大学RAC（提唱函館東RC）

地区内唯一の大学ベースのRAC、会員8名。その特長を生かした活動を期待したい。提唱クラブの支援体制は良好と思われれます。

○札幌南RAC（提唱札幌南RC）

札幌北RACが活動停止し、メンバー6名は札幌南RACへ移籍。札幌市内唯一のRAC、現在19名と会員増強中。勢いがあります。

○函館RAC（提唱函館RC）

前年度地区代表を輩出。3名と少数ながら、地区活動には欠かせないクラブ、会員増強は急務と思われれます。

○赤平RAC（提唱赤平RC）

今年度地区代表を輩出。ここ10年地区内で中心的・模範的なクラブで、奉仕活動等を通して、赤平市民にも認知されています。会員17名

○室蘭北RAC（提唱室蘭北RC）

会員3名、停滞気味か？第8、9、12グループ唯一のRAC。ロータリアンの絶大な指導が必要でしょう。

○岩内RAC（提唱岩内RC）

積極的な活動が必要か。2～3名の会員増強で劇的に良くなる可能性があります。さらなるロータリアンの協力が不可欠です。

○千歳RAC（提唱千歳・恵庭・千歳セントラルRC）

今年度から千歳セントラルRCが提唱に加わり、3RCで共同提唱する新しい形のRAC、会員15名。活発な奉仕活動も評価したいです。



フードパーティー

地区青少年交換委員会活動について

地区青少年交換委員長 宮崎 善昭
(札幌西RC)

長期青少年交換活動は、高校生の1年間の交換留学プログラムです。このプログラムの大きな特徴は、①1年間の長期留学であること。(他の団体では、1年間の長期留学を実施していない。)、②ロータリアンの子女(孫)が参加できること。(ロータリー他の国際関連プログラムは参加できない。)、③交換留学であること。(日本人の生徒を送り出し、外国人の生徒を受け入れる。)などです。留学生は、通常1年間で3~4箇所のホームステイを経験し、外国家庭の文化や習慣の違いを経験します。また、ロータリークラブの親善大使として、地区大会、クラブ行事、地域活動、IM(インターシティ・ミーティング)などのプログラムに参加します。

このプログラムは、もともと青少年奉仕プログラムでしたが、2002~03年度からは新世代プログラム(インターアクト、ロータリーアクト、ライラ、青少年交換)として分類され、特に15歳~18歳までの青少年健全育成に焦点を絞った奉仕活動として位置づけられました。何時の時代にもロータリークラブは次代のリーダーとしての青少年育成をその使命の一つとして多くのエネルギーと資金を提供してきましたが、それは、ロータリークラブがその基本的な精神を地域で有形化するための効果的な方法論としての確信があったからでした。青少年交換プログラムは高校生が参加対象です。多感な青年の時期に外国に留学し、異国の文化に触れ、生活を共にしながら、コミュニケーションは単に言語力や論理的な話し方によって成立するのでなく、相手の立場や気持ちを理解が必要なこと、自分が傍観者ではなく当事者として思い、気持ち、価値観を伝えたいという強いニーズがなければ成り立たないことを経験的に身に着ける機会でもあります。この豊かな経験は、人間同士は異質を認めながらも「共に生きる」ことが可能であることの自覚、つまり本当の「平和」は決して武力ではなく、尊敬心と誠実さ、責任感などの人間一人ひとりの相互信頼感と寛容な精神によって実現していくという深い学びに繋がるものという希望を持っています。

一人の日本人の子どもを外国に送り出し、一人の外国人の子どもを迎え入れる面倒を看るといふ膨大なエネルギーの必要なプログラムです。しかし、これを実施することにより子どもたちに崇高な理想に拠って生きているロータリアン(大人)の姿を現実のものとして見せることができ、私たちが先達として彼らに対し義務を果たしていくことになるのではないかと考えています。



地区インターアクト委員会活動状況

地区インターアクト委員長 戸部アナマリア
(札幌はまなすRC)

昨年度のインターアクト年次大会は登別大谷高等学校と登別ロータリークラブがスポンサーとなり、6月28日、29日の両日にわたり登別市で開催されました。当日ご来賓として上野 晃登別市長、武田 博登別市教育長と竹本将人登別大谷高等学校校長、そして酒井ガバナー、遠藤秀雄パスト・ガバナーを始め多くのロータリアンのご出席を戴きました。

また、地区の9インターアクトクラブの顧問の先生方と94名のインターアクターが参加のもと盛大に、有意義に大会を終える事ができました。諸準備をして下さいました登別大谷高等学校と登別ロータリークラブの皆様には厚くお礼申し上げる次第であります。

当委員会として昨年度に重点的に取り組んだ事は、①各インターアクトクラブの活動内容を各スポンサークラブに伝達し、お互いの協力態勢を作る事。②海外研修旅行で訪問国のインターアクターとの交流を考慮する事。③年次大会の充実。④地区大会でインターアクトクラブの活動のアピール。⑤地区予算の再検討等についてであり、松見地区新世代委員長に来て戴き6回の委員会を開催しました。今年度はこれ等の結果を踏まえて当委員会は活動してまいりますので、皆様のご協力の程よろしくお願い致します。

今年度の最初の活動として例年通り、韓国への海外研修旅行を8月5日から9日迄行いました。参加者はインターアクター12名、顧問教師4名、ロータリアン2名の計18名でした。私はこれ迄に2回この研修旅行に参加しましたが、今年度は都合により残念ながら一緒できませんでした。訪問先は、木浦の「共生園」で、そこでは園生と親しく又将来の夢を語り合いながら心に残る楽しい交流が持たれたとの事。又ソウルでは博物館や歴史等の展示館の見学と市内観光を行った事。そして参加した12名のインターアクター同志も5日間の旅行でお互いに打ち解け合っている姿を見て将来の良き思い出ができたと感じられた事等々のお話を同行した秋山委員より聞いております。



過去の2年間、そして今年度の海外研修旅行を振り返ってみて残念に思うことは訪問国のロータリアンやインターアクター達との交流が皆無の事です。特に韓国のRI第3700地区と当地区は以前より、矢橋ガバナー等のご尽力により姉妹地区になっている所です。多少の時間は要すると思いますが、このご縁をもとに韓国のインターアクターとの交流の機会を持つように活動する必要があると考えています。

最後になりましたが、日頃からインターアクト委員会に多くのご協力、ご支援を戴いている地区役員の皆様、スポンサークラブを始めとする各ロータリークラブの皆様には深く感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬお力添えの程お願い申し上げます。

特別寄稿

第2510地区
洞爺湖にて
サミット
開催

北海道洞爺湖サミットを終えて

洞爺湖ロータリークラブ
幹事 千葉 薫

昨年の4月に安倍前首相が洞爺湖畔を訪れ、首脳会議の会場となるホテルを背に「北海道洞爺湖サミット」を2008年7月7日から9日までの3日間、洞爺湖町で開催することを発表しました。一昨年の暮れ突然に洞爺湖の名前が急浮上し地元としても大変に驚きもしましたが、町としても早速、観光協会、商工会などと連携を取り北海道などへ陳情活動が始まりました。当時は北海道も手を上げておらず、大阪、横浜、京都、岡山、新潟など多くの名だたる都市が1年も2年も前から担当課を作りパンフレットを作り誘致活動を推し進めていたところでした。

洞爺湖が指名されたのは、最後は安倍前首相の決断であったとシェルパの方が先日講演の席で話をしていました。会議場になるホテルが山の上であり警備上で都合が良いというだけでなく、景観の良さ自然環境の点も考慮されたものであり、また北海道で行うことによる経済面、観光面での効果を見込んだ総合的な評価があったようです。

町長を会長としてサミット推進町民会議が立ち上がり、町内の経済団体、産業団体をはじめ多くの町民の関わりの中で、様々な事業がそしてイベントが実施されました。当ロータリークラブも会長が代表で会議に出席をして、このサミットを機に交通安全の旗を100枚作成寄贈しています。



今回のサミットの主要テーマが地球温暖化による環境問題ということで、町民会議では「おもてなしの心で世界へ、環境と観光の町洞爺湖」をキャッチフレーズに1年余りに亘って活動をしました。町内清掃、海浜清掃、植樹、花壇の整備など等、町をきれいに・花のおもてなしでやってきました。また町としてチーム・マイナス6%に参加しています。温度調節で減らそう、水道の使い方で、自動車の使い方で、商品の選び方で、買い物とごみで、電気の使い方で、この小さな事が住民の意識の中にも徐々に浸透して醸成されていくのだらうと思います。

またイベントは200日、100日、50日前を実施、英国大使との交流会、船上PMFコンサート、町民盆踊りなど等。議会においては「環境宣言」を採択、洞爺湖環境基本条例、さわやか環境条例の制定をしました。洞爺湖町役場の公用車が天ぶら油車で2台走っています。洞爺湖農協では貯蔵施設「雪蔵」の事業を取り入れ、出荷の調整や販路の拡大に繋げています。洞爺湖温泉利用共同組合は温泉の排水熱を利用したヒートポンプ事業でCO₂の排出量削減に貢献しているとともに効率の良い事業運営になっています。この共同組合は洞爺湖ロータリークラブの前会長の川南氏が理事長をされており、最先端のシステムで視察も各地から来ているとのこと。現在安倍前首相が発表した場所に、北海道洞爺湖サミット宣言の地としてモニュメントが出来ました。また現地本部に使用されていた旧火山科学館もサミット記念館（仮称）として来年オープンする予定です。サミットが終わり、アフターサミットが問われています。





ロータリー財団セミナーに学んで

地区ロータリー財団委員長 **岩城 秀晴**
(札幌南RC・PG)

「ロータリー財団セミナー-ZONE 1.2.3.4A」のセミナーが7月11日（金）の10：00から17：10までと、翌日12日（土）2日間に亘って、東京都新宿区の京王プラザホテルにおいて開催された。

ロータリー財団は1917年、米国のアトランタ国際大会において、アーチC.クランプ氏が、「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国のイリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となり、今日に至っております。

この理想のもとに、ロータリアンが「世界でよいことをしよう」と未来の夢を実現すべく、推進活動をより効果的な方策を開発することを提唱しておりました。

各項目について、講師が熱心に解説をされておりましたので、各項目ごとに御理解を戴きたいと存じます。詳細は以下のとおりです。

その1 未来の夢を語りませんか、として、田中作次氏が説明され、ロータリーが財団を通して、その理想に馳せ、その実現にはロータリー財団に寄付をし、人道的、教育的プログラムに参加して、初めてロータリアンとしての使命が果せられ、かつ、実現することが未来の夢であり、我々ロータリアンとしての求めているところではないだろうか。

その2 ロータリー財団年度目標としては、高ければ良いとして考えられるから、当地区は2007年5月末現在で、282,718ドルで全会員2,859名として、1人当たり97.24ドルとなっており、34地区中の下から12番目位にランクされております。このような順位をつけてその評価の位置づけをすることは、財団委員長として、はしたない行動であります。現実はこのようになっておりますことを明確にしておきます。

その3 前年と同じように、今年も大口寄付者推進計画を推進しており、当地区からのアドバイザーとして選出はなかったが、第2500地区の清水幸彦氏がアドバイザーに任命されました。当地区からの推進をはかって行きたい。

その4 としては、恒久基金の理解を深めるために、恒久基金日本委員会を設け、渡辺好政氏（第2690地区）が委員長となり、恒久基金の特性として、大金を使わない基金で、投資収益のみを財団プログラムに毎年使う方策のものです。

その5 としては、プログラムのうちの一つとして、教育的には国際親善奨学金があり、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。目的は、男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異の国民間の理解と、友好関係の増進に寄与することによって、毎年800名～1,000名くらいの財団奨学生がロータリークラブと地区、学校や市の機関、その他のフォーラムへの公式、非公式の参加を通して、親善使節として行動をする。この関係についての解説が小島哲氏により説明され、推進方を要請された。

その6 教育的プログラムに世界平和フェロシップという比較的新しいプログラムがあります。このプログラムはポール・ハリス没後50周年と財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、財団管理委

員会、国際関係を研究するためのロータリー・ポール・ハリス・センター設立計画を立てまして、異なる地域の評価の高い八つの大学と提携して行われるプログラムです。八つの大学は、世界問題、紛争解決、国際的研究として優れております。日本の大学では、国際キリスト教大学で、これまでに日本からは1期生～7期生まで輩出しております。

このように、高いレベルのプログラムに財団は基金を設立して、世界平和の貢献に寄与しようとしております。コーディネーターは川尻氏でした。

その7 ロータリー財団学友で、コーディネーターは岡本氏でしたが、日本人では緒方貞子氏を始め、多数の優秀な学友が活躍しており、その数は2008年6月現在では日本で7,530人となっています。2007年の規定審議会で、ロータリー財団学友がロータリークラブ正会員になることが認められました。ロータリークラブ、地区ゾーンの行事の招集者には、ロータリー財団管理委員の出席が要請されているような行事に学友を参加させることを御願いたします。

その8 には、人道的補助金について、片岡室長が説明をされていましたが、その要旨は、国内または地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団が補助金を出す制度が2003年7月から実施しました。

2008年～09年度の日本では、33地区が申し込みする予定ですが、その申し込みが円滑に行っていない。その理由は、

- ①財団委員長が旅行中で署名できなかった。
(申請期間は、7月1日から3月末ですので、十分時間的余裕があると思う。)
- ②マッチング・グラントのプライマリーが、地区で相手が最終報告を提出していなかった。
- ③DDFの残高より多額の申請をした。
- ④補助金の申請にはプロジェクトの内容が不適格プロジェクトをした場合が多く、補助金委員長は、注意されることを望まれていた。

多くはハンドブックの50ページ以降を通読する必要があります。

2010年7月より、補助金を大別して次のとおりとなります。

- 1.ロータリー財団新地区補助金
- 2.ロータリー財団グローバル補助金

その9 年次寄付については、北RRFCにより説明されました。年次寄付は財団プログラムを継続するための燃料の役割を果し、毎年クラブと地区は年次寄付の目標額を設定して、その目標の総額が地区の目標となりました。3年後にはプログラムに使用されます。当第2510地区では1人が100ドルを目標にしておりますが、これが2007-08年度では、97.24ドルとなっております。

その10 として、「新公益法人制度の施行に備えて」テーマで、NPOロータリー日本財団理事長岩井氏が説明されましたが、日本では1997年7月より、教育的プログラムに対する30万円以上の寄付に限って税制上の優遇措置が受けられるようになり、2005-06年度からは、教育的プログラムで20万円以上の寄付をした場合となりました。

取扱いは、日本事務局財団室の「日本ロータリー奨学金委員会口座」に送金します。国際ロータリー日本事務局財団室では、6月、12月の年2回に国際交流基金特定寄付金とし、国際交流基金では、2008年の所得に対する税制上の優遇を受けることができます。しかし、一方では、NPO法人では、公益法人制度改革により、2008年12月1日の施行に間に合うように、公益財団法人の設立を目指しています。従って、この法人が設立されるまでは、この寄付行為の受皿がはっきりしないので、設立が完了するまでは、寄付は取扱い出来ないこととの説明でありました。

以上がロータリー財団セミナーでの要旨であります。昨年も参加致しまして、何とか財団の概念だけは理解できたと思っておりますが、会員の皆様には十分な御説明をすることが出来ないと思っております。財団に対する熱意だけでは難しい問題解決にはならないと思っておりますが、各位の御理解と御協力を心から御願申し上げます。

地区社会奉仕委員会ブロック意見交換会から見えるもの

地区社会奉仕委員長 阪崎健治郎
(札幌西RC)

2008～09年度地区社会奉仕委員会は、毎年度当初に全クラブから「活動計画書」をご提出いただき、それらを冊子にして4つのグループ、[10、11]（函館管内）[7、8、9、12]（苫小牧管内）[4、5、6]（札幌管内）[1、2、3]（滝川管内）に分かれて意見交換会を行った。製本された資料を配布し、それに基き発表していただいた。この「活動計画書」はすでに全クラブの社会奉仕委員長に配布した。

活動は実に多岐にわたっているので、すべてこの紙面で紹介できないが、典型的に活動を分類してみたので、相互に学びあうよい材料にさせていただくことを希望する。

1 意欲的にクラブは活動を開始

当年度はすでに地区社会奉仕委員会のホームページでもご紹介したが、基本的には前年度の方針である「ロータリーの活動の主体はクラブであり、地区はあくまでも側面的に支援する役割に徹し、情報の橋渡しをする役割であること」を踏襲する。

今の日本社会は憂うべき事態であり、私たちはこの歪んだ状況を看過する事は出来ない。100年前に創られたロータリーの運動は、その時代の問題を果敢に取り組み、一定の成果を上げてきた。それはまさに先達の人々が培ってきた努力の結晶であると信じる。ロータリアンはそれぞれのクラブに帰属していることを誇りに思い、高邁な理想に向かって歩み続けている。また意識や言動においても品性や品格を高め、こころの内側にある深い人間性を培ってきたのである。しかし今日のように社会が劣化し、希望を見出せない喪失感漂う中、クラブも個人も厳しく社会を見つめ、この社会の浄化のために何をすべきかを源流に求めつつ、創造的な活動を推進されることを地区の当委員会の方針に掲げた。

さて今回の意見交換会は幾つの特徴を示している。まず全体的に会員の減少傾向が止まっていないという事実である。それゆえに取り組みに難渋し、苦闘しているクラブが幾つかある。そのこととも関連するのか、すべての継続活動を中止し、リセットして新しい活動を模索しているクラブもあった。時にはそうした勇断は現状に甘んじることなく、創造的に開発し、会員自体に新鮮さを与える点で疑問は持たない。しかしながら継続を否という考えを前面に出すことは、せっかく実りかけたものを終息させる恐れもあり、長年の積み重ねてきた努力を不意にするばかりでなく、意欲を減退させる危険性もある。

プロジェクトによっては長い時間をかけて醸成することも必要なことではないだろうか。

長年にわたってクラブと市民とが一緒になって「ロータリーの森」を育ててきた函館セントラルRCの創立記念植樹のエゾ山桜のメンテナンス、創立50周年を記念事業として植樹し、ローソンから150万円の緑の募金の助成+クラブで補強して育成する函館東RC、「ロータリーの森」の運営と「果樹の森」の保全作業の実施と市民との交流会や「友好の森」と湿地帯植物園と連動したロータリー姉妹、友好植樹帯の能登霧島つつじ、江差れんげつつじの庭園化の作業を行う江差RC、千歳RCは分収造林を実施、7,500本の桜を植栽し、現在では5mに成長した「ロータリーの森」など植林と整備活動は数多くのクラブが実施している。このような活動は森林を保有しなければならないが、何十年もかかるプロジェクトだけに「育て続けること」を覚悟することが絶対的条件になる。

地区としては、近年の奇怪な事件を通して、家族や学校さらに職場など周囲から認められないという閉塞感を持つ人々が増加していることに目を向け、人との絆を取り戻し、他者とのコミュニケーションを豊かにするために、より深く地域に密着したサービス活動ができないかと考えた。それが年度方針に挙げた「絆を創るラウンジ」の設置である。各クラブの近くにある気さくに利用させていただきそうな喫茶店やカフェなどに協力願い、ロータリアンと市民とがひとつテーブルを囲み、自由に歓談する場を作ってはどうかという提案である。自分たちはコップの中の水ではなく、積極的に市民との豊かなコミュニケーションを作り出す一滴としてコップからこぼれ出てよき水でありたい。そこから見えてくる問題点や課題を共有し解決に向けて努力することを想像している。

2 各クラブの活動から見てきたもの

- ①会員減少による活動の縮小と結束力の効果……総じて会員の減少傾向が見られる。そのために思うような委員会構成が出来ず活動が停滞気味になった反面、減少によって責任感が強まり、結束力や協力の姿勢が高まったクラブがある。蘭越RCは11名という会員で懸命に取り組まれている。
- ②大都市にあるクラブの活動の難しさ……地域と密着した活動をするには何よりもクラブの活力の有無が問われる。大都市、特に札幌管内のクラブは、テリトリーが不鮮明なことや入退会の率が高いことなどによって他地域のクラブに比べ、密着度はそう高くない。そのためにせつかくのロータリーの心を伝えきれずに相手側に金銭的援助を期待されるとの報告があった。そのことを踏襲するクラブもいくつか見られた。その正否の判断は困難だが、容易に前例踏襲する姿勢は慎重であるべきだろう。ロータリーが触発財として新鮮な空気を地域に発信することが重要なことだ。
- ③CLPの導入……すでに一部のクラブでは、クラブ・リーダーシップ・プランを取り上げ、三大奉仕活動などを一括して「奉仕プロジェクト委員会」に改称し、委員会の権限と活動範囲を拡大しているクラブが幾つか見られる。このことはすでに国際ロータリーでもガイドしている。委員会の数よりも質の向上と多くのメンバーの参加と協力を得ることにシフトされつつある。
- ④活動を類型化すると、
- 「交流活動型」……多様な活動の中には、同種的なまたは近似的な活動は多いが、中にはユニークな活動も見られる。活動対象は青少年のほか、高齢者や障がい者へと幅を広げ、施設や病院などと連携した活動のほか、文化・スポーツ・音楽など様々なイベント企画・協力・支援活動。
- 「自然・環境保護活動型」……植樹・花壇の整備、公園の環境保全、さらに「ロータリーの森」として長年にわたり育生に取り組むクラブが多い。中には数十年の歴史を積んでいるクラブもあり、新しく取り組むクラブは経験豊富なクラブから学習してスタートしてはどうか。
- 「市民協力活動型」……地域の団体主催の活動と一緒に参加協力、またはロータリー文庫の寄贈など市民とのふれあいに力点を置いている活動
- 「市民意識啓発運動型」……交通、防災、献血、羽根募金や施設への資金提供など既成の団体からの要請に応じて市民への啓発に協力する活動
- 「相談事業推進協力型」……函館亀田RC、室蘭東RC、苫小牧北RC、千歳RCなどが地域と連動しながら実施。
- 「特別活動」……滝川RCの「難病の子ども達専用のキャンプ事業」は壮大な計画で日本でも未着手なプロジェクトだ。すでにサイトも決め、一部の高額な指定寄付もあり、医師会の協力も得ながら進行している。このプロジェクトには社会的資源を活用し、地区を上げて協力する必要がある。

以上のように活動を大雑把に括ったので、更に細部にわたり検討したいと考えている。今後の注意としては、近年多くのボランティアグループがひとつの施設に重なるように訪問しており、時には施設側のリズムを崩すこともある。また特に養護・福祉施設においては未だに社会の浄財を求めるといって経営的に安定しているとはいえない。当然福祉行政が問題であるが、それとは別にクラブは相手側とじっくりと話し合いながら、ロータリーならではの活動の発掘が必要だ。例えば「傾聴ボランティア」など、じっくりと日ごろの心の内に耳を傾けながら、居住者の人生のパートナーとして役割を取ることは決して不可能ではない。時代に即応した活動をするために、3つのCが頭に浮かぶ。ひとつは地域つまりコミュニティに密着すること、二つ目は対話・コミュニケーションの促進、三つ目は他者のために自分が何かの役に立つというケアリングではないだろうか。社会奉仕はコミュニティ・サービスと訳されている。何をどのようにサービスするとコミュニティは喜ばれるのか、それが私たちの範疇の活動ではないかと考えている。ご遠慮なく地区委員会にご注文をいただきたい。

地区社会奉仕委員会はホームページを設定した。地区のホームページから訪問していただきたい。

地区社会奉仕委員会 委員長 阪崎健治朗（札幌西RC）
委員 鈴木 保昭（倶知安RC）
委員 玉造 敬子（札幌はまなすRC）
委員 見延庄三郎（小樽南RC）

第99回ロータリー世界大会報告

青木 功喜

(札幌東RC)

なぜ世界大会に出席するか

ロータリーは国際組織であり、年1回の世界大会に出席しますと、ロータリーの規模の大きさ、幅の広さ、奥の深さを実感できます。手続要覧には、次期クラブ役員はロータリーの発展を活発に推進するため国際大会に出席することが推奨されています。このため米国では次期クラブ会長には世界大会への旅費を支給するクラブもあります。外国のロータリアンのみならず日本の他の地区のロータリアンとも一堂に会えるのは国際大会のみです。そのため日本人朝食会や北海道ナイトなども企画されています。会期中は友愛の家では多くのロータリーグッズがありますし、外国のロータリークラブのプロジェクトを知ることができます。百聞は一見にしかず、一度参加するとロータリーの新しい世界が開けます。道端にたつてパレードを見るのではなく自分もパレードに参加してみましよう。

世界大会のプログラムと参加数

世界大会は開会式の後に3日間にわたって午前は本会議、午後は分科会があります。分科会は2010年までの継続事業である水、識字率向上、保健飢餓救済のプログラムと昨年の標語ロータリーは分かち合いの心のテーマが71もあります。物理的に全部は聞けないので、ロータリー財団の最新情報、ロータリー家族、GSEに関する分科会を中心に旧交を温めて来ました。

第一日目 ロータリーの歴史

1：会長挨拶

分かち合いは例会、地域社会、世界と広げると共に、自分にない能力を他の人に補ってもらえることを感謝しようと言うRI会長の挨拶に始まりました。

2：国際インナーフォーイール（IIW）会長の講演。

アメリカのIWの活動が盛んでないのは残念であるが、IWは女性会員と競争する気はなく、ロータリーの負けないような大きな奉仕活動をしようとしているのではない。生活の範囲内でできる奉仕を行い、ロータリアンの主人を理解しサポートしたい。女性ロータリアンは過去10年間で15%になったに過ぎない。世界のロータリアンの数は米国、日本などのロータリアン大国では確実に減っている。この退会防止にはロータリーファミリーの協力も大切であろうときわめて控えめな話は好感が持たれた。IIWはロータリアンのご夫人の会で日本では第2510地区の札幌東RCの夫人による札幌IWがただ1つ正式加入しており、今年10年目を迎えます。

3：ロータリー財団の沿革

財団学生であった元駐英大使であったフィリップレーダーさんは、道は歩いてこそ道になる。道の向こうに何かあるか判らなくても信頼できる友人がいればその道のりは楽しくなる。このことを多くのロータリアンが教えてくれ、私の人生も大きく改善されたと話した。RIの財団委員長はただお金をやればいいではありません。私たちは学生に希望を与えてやることにより、その学生はロータリアンとして帰ってくるのですと付け加えていた。

2日目の本会議（今日のロータリー）

ポリオ撲滅

ロータリーは1985年以来650億円をポリオ撲滅計画に参加して来ましたがロータリーだけでは終結させる

ことは困難な情勢でありました。昨年ハーバード大学がポリオは撲滅すべきか、封じ込めるべきかの議論に対して数学モデルを用いて撲滅と封じ込めにかかる財政的人的コストの比較を医学雑誌ランセットに発表した。発展途上国はポリオ撲滅により1000億円以上の保健医療費が節約できる。封じ込めに切り替えるならば今後40年間は1000万人の子供がポリオ感染の危機に曝されるという結論でした。このことを読んだビル&メリンダゲイツ財団はポリオ撲滅に後一步というところまで前進できたロータリーの今までの並々ならぬ尽力に敬意を表してロータリー歴史上最大の100億円の寄付を申し出てくださいました。このため国際ロータリーはゲイツ財団に自分たちで同額の100億円を集めポリオ撲滅を約束しました。その後WHO、CDC、UNICEFの関係者が講演しました。

分科会の印象

1：米国での世界大会

今回の世界大会は2番目にRCができたサンフランシスコと5番目のロサンゼルスが競争し合って決まり、国際大会というよりは米国大会という印象が強いものでした。ロータリーがシカゴに発足してから2年後に世界大会がもたれたので今回の会は99回目です。このためアメリカのロータリークラブは100年目を迎えたクラブが多く、本会議の中でも100周年を迎えた16の米国のロータリークラブが紹介され、会長に各々記念の盾を授与していました。今回のロサンゼルス大会の登録者は18,702名で米国が半数の9,108人で日本からの参加者が1,620人とアメリカについて多い参加者登録でした。今回は登録カードをもらうのにパスポート提示が要求され、町を歩くときはカードをつけるなどの注意もありました。最も多い米国のロータリアンは米国以外の開催地を望み、3年に1回は米国以外で開催されます。

2：退会防止

世界のロータリアンの数を見ますと2002年サンアントニオ大会から上向きに増加していますが、これはアジア諸国、アフリカ諸国の開発途上国の増加であり会員数が多い米国、日本、韓国は減少しています。特に我が国は13万から10万と25%の減少です。今回の分科会でも折角入った新会員の退会防止をいかにするかというのが大きな話題でした。

3：継続プログラム

2007年のソルトレーク大会従来から言われていた単年度プログラムから継続プログラムを取り入れようということになりロータリーは2007年から2010年まではロータリーの継続奉仕には保健と飢餓追放、水、識字率向上が取り上げられています。従来のロータリーは個人奉仕、単年度プログラムという考えに変化が起きて来ています。

3日目の本会議（未来のロータリーと閉会式）

1：李会長エレクトの講演

子供の死亡率低下を減らし妊婦の健康状態を改善しようがあります。毎年予防できるはずの原因で1000万人以上の子供が命を落とし、50万人以上の女性が妊娠に関連した原因で亡くなっています。肺炎下痢マラリアはしかが5歳未満の子供の死亡の第1の原因です。その背景にあるのは栄養失調という問題で死亡の60%はその背後に栄養失調があります。これらの予防には訓練を受けた助産婦、HIV検査、蚊帳、母乳です。我が国での食べ残す食べ物の量はこれらの国で欲している食べ物の2倍であるという報告もありました。

2：閉会式

今回は英国のバーミンガムで25年ぶりに、6月21日から24日まで開催されます。登録は今年中であれば280\$当日であれば380\$です。次はカナダのトロント、続いて米国のニューオリンズが予定されています。閉会式に出席する会員が多いですが閉会式出席もいいものです。最後に全員でスコットランド民謡蛍の光を合唱しバーミンガムでの再会を誓った。



ロータリーの故郷

国際ロータリー第2510地区

PG 塚原 房樹

(札幌東RC)

《谷間の村を訪ねて》

ポール・ハリスの自序伝『ロータリーへの道』“My Road to Rotary”の序文に次のような言葉があります。『私の七十余年の人生で、大切なものが二つあります。一つは故郷ニューイングランドの谷間、もう一つはロータリー運動です。私がロータリーに身を捧げるようになった源を探っていくと、故郷の谷間、村人の人情、宗教や政治に対する寛容の心にまでさかのぼってゆきます。見方によればロータリーは故郷の谷間で産声を上げたのです』ハリスは父が事業に失敗したため3歳の時から幼少時代をニューイングランドの祖父母の家で送りました。

かねてより私は、ぜひこの目でロータリーが生まれたニューイングランドの谷間を見たいと念願していましたが、1996年、ポール・ハリスの没後50周年を機会に故郷の谷間の村、ウオーリングフォードを訪ねてまいりました。ウオーリングフォードに行くにはいろいろな交通手段がありますが、オルバニー（ニューヨークの州都）経由で行くことにしました。ニューヨークのペンシルバニア・ステーションから、アムトラック（日本のJR）のモントリオール行きに乗りオルバニーまで行きます。車窓の左手に対岸の緑が霞むほど広いハドソン河が悠然と流れていて、ヨットハーバーが随所に見えました。列車はひたすらハドソン河に沿って北上を続け、2時間後にオルバニー着、あらかじめ予約しておいたレンタカーで、北ハイウェイ7号線から9号線を北上してバーモント州ウオーリングフォードを目指しました。バーモントは仏語で緑の山という意味で、6月のグリーン山脈の新緑は殊の外美しく、楓、柏の中に白樺が点在して、所々にサイロが見え隠れするさまは、まるで北海道の緑豊かな富良野、十勝地方をドライブしているようでした。ハイウェイの両側に骨董品の店（アンティークショップ）が次々と現れます。週末にはニューヨーカー達が大量このアンティーク街道を訪れるそうです。ここはヤンキーの故郷なのです。二本のグリーン山脈の間を走ること約2時間、行く手の右側に大きな円形の「ロータリーマーク」の立て看板が現れました。ついにウオーリングフォード村に来たのだと心が躍りました。楓の街路樹が並び、手入れの行き届いた旧家が点々と散在している村のハイウェイを数百メートル行くと、教会通りの角にポールが少年時代、日曜日ごとに礼拝に通った白いペンキ塗のコングリゲーションル教会が現れ、続いてノース・メイン通り沿い右手に祖父のハワード・ハリスの家を見つけました。まさにここがロータリーの故郷なのです。

《宗教自由の揺籃の地》

かつてハリスは、自分の祖先をたどっていくと「ピルグリムファザーズ」にまでさかのぼることができるかと語ったことがありました。「ピルグリムファザーズ」とは1620年、信仰の自由を求めて、メイフラワー号でイギリスからニューイングランドに移住し、プリマスに植民地を建設したピューリタンの一団（巡礼父祖）の人達で

す。ピューリタニズムは戒律の厳しい宗教で軍隊的宗教とさえいわれました。ハリスは前述したように父が事業に失敗したためニューイングランドのピューリタンの祖父母の家で幼少期を過ごしました。後にハリスは長い人生を振り返ってみると隣人に対する寛容の心はニューイングランドの古き良き時代の家庭を代表する素朴な美德として大事なものでとしみじみ述懐しています。ではなぜニューイングランドに「寛容の心」が育まれたのでしょうか。それはニューイングランドに各国から移民が続々と入植しました。従来のピューリタンとともにプロテスタントの諸派が数を増し、カトリック移民やアイルランドと仏領カナダの移住者達は、宗教の壁を「寛容の心」を以って超越し融合しました。ニューイングランドは「宗教自由の揺籃の地」となったのです。寛容“Toleration”という言葉は特に宗教の自由を表す時に使います。ちなみに/the Act of Tolerationは（英国の）信教自由令《1689年》のことです。

《ロータリーの寛容 “Toleration”》

日本は島国の単一民族ですが、アメリカは少数民族の集まりで「人種のるつぼ」(Melting Pot)の国です。人々が同じ目的を目指して溶け合う(Melting)には、寛容“Toleration”が必要条件です。ただ最近のアメリカは、多文化主義の台頭で(Melting Pot)よりむしろ混ざるが溶け合わない「サラダボウル」(Salad Bowl)という言葉も生まれました。しかし当時ポールが宗教自由揺籃の地で村人から学んだ「寛容」こそが、多人種のアメリカでロータリー運動を展開していくための鍵でした。会員の政治や宗教に制約を加えることなど決してしてはならず、皆が互いの信条や意見に対して広く寛容でなければならぬと決意していました。もし人間がその仲間をそのありのままの姿で受け入れることができないなら、友愛も親睦もありえないとハリスは認識していました。「ロータリーとは何か」、「ロータリアンとは何か」がいつも問われますが、これは簡単に答えられません。ロータリーは理解しやすいと同時に定義しがたいからです。ロータリーは対立する政治哲学、信条の違いが唱える「否定」を潔しとせず、「寛容の心」を以ってこれらを超越することによって、長きにわたって国際理解を妨げてきた障壁のすべてを乗り越える生き方があります。ロータリーはこういうものと対決するのではなくこれらが持つ価値を止揚(アウフヘーベン)します。ロータリーは人間性を高める生き方があります。

ロータリーの寛容はこのように非常に次元の高いものであるにもかかわらず、現実においてはこのことが少しも理解されず、ロータリーの諸会合においてホストクラブの幹事さんが「一生懸命この会合の準備をしましたが、どうか至らない点はロータリーの寛容の精神に免じてお許し下さい」などと低次元の親睦概念に振り回されマアマア主義が横行しているのは残念です。

今、RIでは未来のテーマとして「多様性」が取り上げられています。文化や価値の違いを尊重しつつ、いかに世界の秩序を形成してゆけば良いのか、いかにして新たな普遍主義や理念を生み出してゆけば良いのでしょうか。そのためにはこれまで消極的な価値とみられてきた寛容とか他者への思いやりといったものに積極的な価値観を与えていくことであると思います。ハリスは「ロータリアン誌第一号/1910年」の巻頭に「合理的ロータリアニズム」という論文を寄せました。その中でもし自分が広い場所で眼下に大勢のロータリアンを眺めながら、神様から何か一言だけ言えと言われたら躊躇することなくありったけの大声で寛容“Toleration”と叫ぶであろうと語っています。ハリスのロータリーのバックボーンは生涯を通じて寛容“Toleration”の精神で貫かれていました。そしてこれこそが会長・幹事さんがクラブを管理運営していくための秘訣といえましょう。



「元気、活気、ヤル気」溢れる 第3グループ紹介

地区ガバナー補佐（第3グループ担当）

吉野 顕隆
(栗沢RC)

残暑お見舞い申し上げます。

矢橋ガバナー年度は世界が注目する北海道洞爺湖サミットの大イベントと共にスタート致しました。地球の温暖化防止のためのCO₂の排出規制、原油高騰問題、アフリカ支援等8ヶ国の首脳が「人類のために夢をかたちにするため」第2510地区で開催されました。サミットが終わり、いよいよガバナー公式訪問が第3グループの江別西クラブから始まりました。第3グループは江別市内に2クラブ、岩見沢市内3クラブ、美唄市、栗山町、当別町に各1クラブの8クラブです。

江別西クラブは滝沢仁会長の地域密着型奉仕で幼稚園、老人福祉施設、子供雪像作り等のイベント参加で地域に元気をモットーに活動しています。

次に江別クラブは金田敏雄会長が第47代目になる歴史あるクラブです。前年度安孫子ガバナー補佐が活躍されました。野幌原始の森に蛍が沢山舞うために継続的に清掃奉仕、ネパール日本友情学校整備支援、米山奨学生例会卓話等、国際奉仕活動が盛んで活気のあるクラブです。

岩見沢クラブは創立55周年の伝統ある第3グループのリーダークラブです。北市宗三会長は「すばらしき仲間と楽しい例会」を会長方針に充実したすばらしい活動をされています。岩見沢クラブは第2510地区で唯一、ローターアクト、インターアクトクラブを持つクラブです。創立40周年を迎えるローターアクトは益々の活躍を希望します。

岩見沢市内2クラブ目は岩見沢東クラブです。5月に創立25周年を盛会裡に終了され、熱気溢れるクラブです。坂口堅一会長は「地域のロータリー」を今年度のテーマとされました。地産地消、環境、防災を主眼にして地域を活性化されるロータリーにしたいとスタートしました。坂口会長頑張って下さい。

岩見沢市内3クラブ目は、岩見沢市に合併して3年目になる新岩見沢市民の栗沢クラブです。金山英昭会長は、現在会員は24名ですが、会員の増強に力を入れて、ロータリーのすばらしさ、楽しさをわかち合えるよう頑張りますとヤル気満々の抱負を語っています。

第3グループ6クラブ目は美唄クラブです。今年5月に創立35周年、心よりお祝い申し上げます。本田俊朗会長はクラブ運営方針を「思いやりは奉仕の心」とクラブをまとめられ、思いやりの心を持って「奉仕の精神」をより高く掲げ、「夢をかたち」にするため、地域に密着した活動を進めようと新年度をスタートされています。

第3グループ7番目のクラブは栗山クラブです。関吉一郎会長年度は新世代に目を向けて地域の子供たちに活発な活動をしています。7月には近隣中学校11校が参加して「第9回栗山ロータリー旗新人戦野球大会」、新事業でロータリー防犯自衛団を立ち上げ青色灯をつけた車十台が町内をパトロールして安全な町づくりに奉仕しています。

第3グループ8クラブ目は当別クラブです。当別クラブは、札幌北クラブをスポンサークラブとして創設され33年になる充実したクラブです。当別町は宮城県岩手山伊達藩により開拓された縁で岩手山ロータリークラブと姉妹クラブ、又、スウェーデン・レクサンド市と当別町が姉妹都市交流を結んでいることもあり、スウェーデン・レクサンドロータリークラブとも長年交流を続けているクラブです。小野廣實会長年度もすばらしい特色ある国際奉仕をされることと思います。

第3グループ8クラブは「ロータリーの夢をかたち」にするため「元気」「活気」「ヤル気」で満ち溢れています。どうぞ第2510地区のロータリアンのメーキャップをお待ちしております。

第2510地区矢橋ガバナーのご健康とロータリアンのご活躍を念じ上げます。

ガバナー公式訪問

江別西ロータリークラブ

7月15日（火）

矢橋ガバナーにとって初めての公式訪問に選ばれたのは、第3グループの江別西ロータリークラブでした。晴天の下、滝沢会長に迎えられて公式訪問が行われました。吉野第3グループ担当ガバナー補佐とともに会長・幹事会及びクラブ協議会に臨んだ後、いよいよ例会となりました。

例会ではまず、この日新入会員となられた寺岡氏が、ガバナーよりバッジを付けられ、25名の会員から祝福を受けられました。朗らかなムードの中食事を摂り、その後のガバナーからの卓話では、ガバナーご自身のロータリー歴を実に真面目にかつ愉快にお話され、笑いを誘うほど砕けたムードを醸し出し、その後のお話もとても判りやすく、会員の皆様にご理解を得られた様子でした。

地区幹事の石丸氏から地区大会のご案内があった後、全員で記念撮影を行い、公式訪問は無事終了しました。



栗沢ロータリークラブ

7月16日（水）

本日、矢橋ガバナーが吉野ガバナー補佐と共に当クラブをご訪問下さいました。金山会長ほか、各委員長一同列席し、栗沢RCの事業計画や活動の様子を一通り確認くださいました。

その後、会員全員の例会に参加くださいまして、2008～09年度RI会長 李東建氏の紹介、今年度のテーマ、『MAKE DREAMS REAL』『夢をかたちに』を具体的に実践できるように、全うする為に強調事項を説明されました。

強調事項は、栗沢RCでも事業計画で実践する内容である事を確認された矢橋ガバナーから各全員に力強くお話をいただきました。

- 強調事項
1. 4つのテストの実践
 2. ロータリー財団に1人100ドル
 3. 1クラブ1名の増員達成



美唄ロータリークラブ

7月17日（木）

午前10時から矢橋温郎ガバナーをお迎えして吉野ガバナー補佐と本田会長、高橋会長エレクト、高田幹事の5人で懇談会をいたしました。話は、美唄の街の窮状や会員の減少の話、その中で露天掘りが復活して頑張っている話もあり、ロータリーの今後についても色々なご示唆をいただきました。また午前11時からクラブ協議会を白鶴の間で各委員長にご出席いただき、それぞれより今年の活動について伺いました。真ヶ口会員と田中会員は新入会員としてご挨拶もしていただきました。

午後0時30分からの例会においては吉野ガバナー補佐からガバナーの紹介をいただき、その後矢橋ガバナーから、暖かな人柄がにじみ出るお話を頂き、会員一同ガバナーに聞き入った次第であります。



赤平ロータリークラブ

7月22日(火)

矢橋温郎ガバナーと第2グループ担当神部ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。朝10時から会長・幹事・会長エレクトとの懇談会がもたれ、その後午前11時から各クラブ委員長との協議会を行いました。最後に12時半から例会が開かれ、無事終了しました。

新年度の初めに毎年、ガバナーと間近に接し、赤平ロータリークラブの活動状況をつぶさに説明できる数少ない機会なので、若林会長をはじめ、各委員長は熱心に話しに聞き入り、また、自分達の活動方針などを詳しく説明しました。例会での講話の冒頭で、西澤会員とはローターアクトクラブを通じて、旧知の仲である事を紹介され、表情もほぐれ、グッと身近に感じられました。



砂川ロータリークラブ

7月23日(水)

午前10時会長・幹事会、11時からクラブ協議会が開催された。会長から砂川クラブは「老壮青」バランスのとれたクラブと紹介を受けました。

女性会員の獲得に向けガバナーから例を挙げてのご示唆がなされ、また推奨ロータリー・クラブ細則2007年版手順要覧では、CLPに沿った文章に改正されたため、これに沿って細則を検討する機関設置を確約されました。例会は54名の会員のほとんどが出席してホテル自慢の手の込んだ料理が出され、ガバナーのスピーチに耳を傾けた。良く纏まったクラブだと感じられました。



滝川ロータリークラブ

7月24日(木)

午後4時より滝川クラブの会長・幹事会にエレクトと副会長が同席し、クラブの現況説明を受けた。滝川クラブは会員数102名の大クラブであり、一時途絶えていた女性会員の増強もなされた旨の報告があり、ガバナーもご満悦のご様子。

午後5時からクラブ協議会が行われクラブ奉仕関係の説明を副会長から、四大奉仕関係は各委員長から活動計画の説明が行われた。ここでも細則の検討について話題が及んだが、ガバナーが特に発言をされ「大きなクラブほどCLPの導入には前向きではない傾向があるが、滝川クラブも慎重に対処する」よう要望された。

例会時間を変更して午後6時から行われた例会では、点鐘に続きガバナーに敬意を表し国歌斉唱で始まり、滝川クラブ独自に歌い続けられている「四つのテスト」の斉唱を聴いていただいた。例会は大勢の会員とともに美味しい和食メニューであったが、やはり「土用の丑の日」のため、少しではあったが国産の鰻も出されていた。ガバナーには「鰻攻め」に感じた一日であったかも知れない。グループ内4クラブの公式訪問を終えるにあたってのスピーチは一層弁舌さわやかに感じられた。



(赤平RC、砂川IRC、芦別RC、滝川IRC報告：神部第2グループ担当ガバナー補佐)

芦別ロータリークラブ

7月24日(木)

午前10時に芦別クラブ会長・幹事・エレクト・副会長の御案内で自慢の「ロータリーの森」の見学に一寸したドライブをして、きれいに整備されたロータリーの歯車状に作られた花壇をバックに記念撮影をしました。その後、カナディアン・ワールドの中の「創立50周年記念桜の園」を見学し、植樹の苦労話で花が咲きました。例会場へ戻りクラブ協議会を行い、CLPに沿った形での細則の整備や退会者への配慮や救済策などについてガバナーの意見を求められた。例会は丁度「土用の丑の日」だったため、大変美味しい肉厚の鰻重を頂きました。ガバナーのスピーチは35分間の持ち時間を十二分に使ったテーマと地区目標の丁寧な解説を戴きました。



栗山ロータリークラブ

7月29日(火)

栗山ロータリークラブでは、矢橋ガバナーの公式訪問に合わせて、「栗山RC防犯パトロール隊」の結成を行いました。

最近の各種凶悪犯罪の続発から、子供達をそのような危険から守ることを念頭に、警察活動に頼るだけでなく、地域連帯の再生や交通安全運動など、犯罪に強い街づくりを目指して、自家用車によるパトロールを始めることといたしました。このためクラブとしてはガバナー公式訪問の当日に、矢橋ガバナー及び吉野ガバナー補佐に御臨席を賜り、青色回転灯装備車パトロール隊結団・出動式を執り行いました。



2008-09年度のRIのテーマは「夢をかたちに」であります。時宜を得て当クラブでは「事故防止と犯罪防止」と置き換えて、その実践化に邁進します。

江別ロータリークラブ

7月31日(木)

当クラブは2008年7月31日、矢橋温郎ガバナーをお迎えしての公式訪問例会を開催し、会長・幹事懇談会では、矢橋ガバナーから今年度の李東建RI会長の方針、RI2510地区の近況などを聞くと共に、当クラブの現況、及び活動方針をお話しました。吉野顕隆ガバナー補佐、本田正一補佐幹事も同席いただき、協力的なお話を頂きました。

クラブ協議会では、各委員会の活動方針を発表し吉野ガバナー補佐から講評をいただいた後、矢橋ガバナーから総括していただき、「ほたる生息地の清掃」「子供たちと一緒の餅つき大会」「4つのテスト唱和」には評価を頂きました。

公式訪問例会では、「夢をかたちに」のRI会長方針、ガバナー地区目標についてお話をいただき、今年度の当クラブ活動の上で目標達成に役立ててまいります。有難うございました。



小樽南ロータリークラブ

8月1日(金)

午前10時より、矢橋温郎ガバナーと佐藤泰視第6グループ担当ガバナー補佐の出席のもと公式訪問に先だち、福島会長・斎田次期会長・板垣幹事が同席して懇談会を開催しました。第2510地区の今までの歴史及び現況について懇談し、その後今日の公式訪問の進行について協議を行いました。

午前11時より、クラブ協議会を開催し、そこでクラブ奉仕委員長を始め各委員長より今期の活動計画について発表し、ガバナーよりアドバイスをいただきました。特に岡崎ロータリー財団委員長の財団寄付についての決意表明や、今期で2年目に入ったCLPについては好評を頂きました。

午後12時30分より、例会を開催し矢橋ガバナーのロータリー歴を披露していただきながら、ロータリーについてのお話を伺い、矢橋ガバナーの人の温かさやロータリーへの熱い思いを感じさせていただきました。



新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



金内 俊市
(深川IRC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 信用金庫



水上真由美
(深川IRC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 医療法人評議員



菱口 亮
(深川IRC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 老人ホーム



彦坂 忠人
(千歳セントラルRC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 農業コンサルタント



匂坂 将史
(えりもRC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 配管工事



柳 昌好
(えりもRC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 福祉協議会



齋藤 俊一
(室蘭北RC)

■入会 / 7月1日
■職業分類 / 病院経営



岩淵 健悦
(砂川IRC)

■入会 / 7月2日
■職業分類 / 鉄筋加工



大橋 俊彦
(砂川IRC)

■入会 / 7月2日
■職業分類 / 配管工事



羽染 晋
(羽幌RC)

■入会 / 7月3日
■職業分類 / 一般自動車販売



藤田 智敬
(羽幌RC)

■入会 / 7月3日
■職業分類 / 生命保険



木村 清延
(岩見沢RC)

■入会 / 7月3日
■職業分類 / 労災病院



中村 興治
(岩見沢RC)

■入会/
7月3日
■職業分類/
耳鼻咽喉科医



金刺 秀明
(岩見沢RC)

■入会/
7月31日
■職業分類/
電気供給



安藤 泉
(新札幌RC)

■入会/
7月9日
■職業分類/
電気工事



野元 和光
(千歳RC)

■入会/
7月10日
■職業分類/
旅行業



中村 修治
(苫小牧RC)

■入会/
7月11日
■職業分類/
通信機器販売



大森 徹
(苫小牧RC)

■入会/
7月11日
■職業分類/
印刷



谷口 博俊
(苫小牧RC)

■入会/
7月11日
■職業分類/
電気通信



佐藤 文則
(苫小牧RC)

■入会/
7月18日
■職業分類/
地方銀行



長谷川 滋
(苫小牧RC)

■入会/
7月18日
■職業分類/
ホテル



越水 一賀
(岩見沢東RC)

■入会/
7月15日
■職業分類/
生命保険



後藤 満
(伊達RC)

■入会/
7月15日
■職業分類/
新聞発行



池田 昌弥
(苫小牧北RC)

■入会/
7月22日
■職業分類/
OA機器販売

地区委員会報告

■委員会名： 米山記念奨学委員会	■開催日： 2008年 7月12日（土）
■委員長： 大石 春雄	■開催場所： 札幌サンプラザ
	■出席人数： 6人

札幌サンプラザにて地区委員6名が集い、本年度第1回委員会を開催し、下記の内容の検討を行いました。

1. 2009学年度指定校と被推薦者数の決定について
 - ・指定校は14校 被推薦者数は42名に決定
2. 2008—2009年度行事計画について
 - ・米山奨学生研修旅行を9月20日（土）に開催することとなった。
 - ・地区大会において展示ブースを設けることとなった。
 - ・次年度候補生の試験案内は12月に発送することとなった。
 - ・次年度奨学生選考試験を2009年1月10日（土）に行うこととなった。
 - ・2009年3月終了者の歓送会を2009年2月21日（土）に行うこととなった。
 - ・カウンセラー研修を2009年4月18日（土）に行うこととなった。
3. 決算及び予算について
4. 今年度の行事担当について

■委員会名： GSE委員会	■開催日： 2008年 7月22日（火）
■委員長： 岡崎 芳明	■開催場所： 場所：ロイトン札幌3F
	■出席人数： 9人

岩城財団委員長の同席を賜り、地区の全ての委員8名がそろい、下記の内容の検討を行いました。

1. 本年度の活動計画について、次年度に行われるGSEプログラムの準備として、チームリーダーの募集、メンバーの募集、および受け入れのためのコーディネーターの選出、受入クラブの選定を行うこととした。
2. 次年度GSEプログラムの相手地域として、スウェーデンの第2360地区に決定しているが、派遣・受入の時期については2010年4月に受入、5月に派遣という日程を基本として準備することとなった。
3. 本年度活動内容に関わる各委員の役割分担を行った。
4. 今年度の具体的な活動の第1として、チームリーダーの選出があり、このため地区内のクラブに推薦をお願いすることとなった。
5. 今後の委員会開催日程を決定した。

2011—2012年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 矢橋 温 郎
地区ガバナー指名委員長 塚原 房 樹

2011—2012年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定



(251号)

〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より（2）

- ◎ **〔ロータリーの理想〕**
ピチャイ・ラタクル 2008 6p
(D.2580 地区大会記録)
- ◎ **〔ロータリーの向うべき道（シンポジウム）〕**
小沢一彦（モデレーター） 2008 23p
(D.2780 地区大会報告書)
- ◎ **〔職業奉仕の重要性について
（2008年国際協議会レポート）〕**
渡辺好政 2008 2p
(D.2690 月信)
- ◎ **〔ロータリーの綱領〕**
鈴木政昭 2008 2p
(D.2800 月信)
- ◎ **〔決議23-34の徹底的解析〕**
田中 毅 2008 8p
(D.2510 地区大会記録)
- ◎ **〔決議34号〕**
鈴木政昭 2008 3p
(D.2800 月信)
- ◎ **〔増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法
それは新会員の意識を高めることから出発する〕**
服部芳樹 2008 5p
(D.2510 地区大会記録)
- ◎ **〔今だからこそ問う ロータリーとは何か〕**
深川純一 2008 8p
(D.2830 地区大会記録誌)
- ◎ **〔ロータリーを生きる〕**
佐古亮尊 2008 13p
(D.2830 地区大会記録誌)
- ◎ **〔CLPとロータリー〕**
神崎正陳 2007 6p
(D.2500 地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

9月のロータリーレート 1ドル＝108円

2009～2010年度 青少年交換留学生募集のお知らせ

次年度（2009～2010年度）長期青少年交換留学生を下記のように募集しています。ご希望のクラブは、応募されるようお願い申し上げます。尚、本プログラムはロータリアンの子女、孫も参加可能なプログラムですので貴クラブ会員に広く広報くだされば幸いに存じます。留学先のご希望は伺いますが最終決定は面接、オリエンテーション後になりますのでご理解ください。

国際奉仕を兼ねた新世代プログラムです。

募 集 内 容

- 募集期間 …… 2008年9月30日締切り
 交換国(派遣) …… アメリカ、オーストラリア、カナダ、フィンランド
 派遣期間 …… 2009年8月～2010年7月 1ヶ年間
 募集人数 …… 15歳～19歳未満の男女 7名（中・高校生）
 面接、説明会 …… 10月上旬予定（後日委員会より連絡）

申込・問い合わせ 〒004-0021 札幌市厚別区青葉町9丁目4-15
 国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会事務局 土田 義也
 TEL 090-8706-4847 FAX 011-802-2512

■邦訳版ロータリー章典の改訂版、2008年6月版のウェブ掲載

RIのウェブサイトを「会員」、「方針と手続」、「方針に関する文書」と順次リンクしていただく関連資料にロータリー章典が掲載されておりますので、こちらからダウンロードすることができます。

<http://www.rotary.org/ja/Members/PoliciesAndProcedures/PolicyDocuments/Pages/ridefault.as>

なお、直接ファイルをご覧になる場合には以下のリンク先をご利用ください。
 ファイルサイズは4.2MBになります。

http://www.rotary.org/Rldocuments/ja_pdf/code_ja.pdf

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江別RC：9月18日（木） 移動夜間例会 18：30～
場所：マリナーラ（江別市緑町東3丁目）
- 9月25日（木） 移動例会 12：30～
場所：勤労者研修センター（江別市緑町西1丁目103）
- 江別西RC：9月9日（火） 江別西・青年会議所合同夜間例会 18：30～
場所：市民会館
- 岩見沢東RC：9月23日（火） 移動例会「第11回岩見沢東RC杯争奪少年サッカー大会」 09：00～
場所：岡山スポーツフィールド
- 小樽RC：9月9日（火） 移動例会 12：30～ 場所：小樽公園子供の国
- 室蘭RC：9月18日（木） 夜間例会 18：00～ 場所：室蘭プリンスホテル
- 室蘭東RC：9月14日（日） 家族同伴野外例会
- 9月17日（水） 振替休会
- 室蘭北RC：9月2日（火） 夜間例会「ガバナー公式訪問」 18：00～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 9月7日（日） 移動例会「知利別川清掃活動・植樹」 場所：知利別川
- 9月9日（火） 振替休会
- 9月23日（火） 休会
- 苫小牧RC：9月19日（金） 夜間例会「相模原RC公式訪問歓迎夜間例会」 18：00～
場所：グランドホテルニュー王子

出席率・会員数

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.7.31	増減	内女性		
1	深 川	5	36	36	0	3	89.03	
	羽 幌	4	48	48	0	1	83.00	
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	91.66	
	小 平	3	14	14	0	0	71.43	
	留 萌	5	45	45	0	0	90.48	
	小 計			152	152	0	4	85.12
2	赤 平	4	29	28	-1	1	83.50	
	芦 別	5	44	44	0	0	90.76	
	砂 川	5	52	54	2	0	97.74	
	滝 川	5	99	101	2	1	82.00	
	小 計			224	227	3	2	88.50
3	美 唄	5	38	38	0	0	85.04	
	江 別	5	34	34	0	1	89.41	
	江 別 西	5	27	28	1	3	92.82	
	岩 見 沢	5	87	90	3	0	89.33	
	岩 見 沢 東	5	34	35	1	4	88.60	
	栗 沢	5	23	24	1	1	100.00	
	栗 山	5	26	26	0	2	96.52	
	当 別	5	34	34	0	0	84.27	
	小 計			303	309	6	11	90.75
4	札 幌	5	117	120	3	0	97.56	
	札幌あけぼの	3	18	18	0	1	94.00	
	札幌はまなす	5	25	25	0	4	71.19	
	札 幌 北	3	43	43	0	6	87.81	
	札幌モーニング	5	49	51	2	0	77.12	
	札 幌 西	4	62	63	1	4	94.98	
	札 幌 西 北	5	39	41	2	5	93.63	
	札 幌 手 稻	4	34	35	1	1	93.58	
	小 計			387	396	9	21	88.73
	5	札 幌 東	5	120	120	0	0	96.65
札 幌 清 田		5	18	18	0	4	96.67	
札 幌 幌 南		4	65	65	0	0	99.58	
札 幌 真 駒 内		5	35	35	0	3	94.12	
札 幌 南		3	92	95	3	0	96.45	
札幌大通公園		3	9	9	0	2	85.19	
札幌セントラル		4	14	14	0	6	68.50	
新 札 幌		5	32	33	1	3	87.41	
小 計				385	389	4	18	90.57
6	岩 内	5	21	21	0	0	90.78	
	俱 知 安	5	46	46	0	4	75.20	
	小 樽	5	69	69	0	0	86.25	
	小 樽 南	4	73	73	0	0	85.21	
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	85.00	
	蘭 越	3	11	11	0	0	78.78	
	余 市	5	39	41	2	4	92.20	
	小 計			280	282	2	10	84.77

7月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,853人(98人)
増加会員数	37人
当月平均出席率	86.64%

クラブ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2008.7.31	増減	内女性		
7	千 歳	5	63	64	1	3	80.30	
	千歳セントラル	4	35	35	0	1	72.14	
	恵 庭	4	39	41	2	0	90.38	
	北 広 島	5	17	17	0	0	92.94	
	長 沼	3	20	20	0	3	75.00	
	由 仁	5	10	10	0	0	82.22	
	小 計			184	187	3	7	82.16
8	え り も	5	22	22	0	0	94.70	
	三 石	3	15	15	0	1	97.78	
	様 似	4	23	23	0	1	87.50	
	静 内	5	72	72	0	1	90.50	
	浦 河	5	34	34	0	2	92.35	
	小 計			166	166	0	5	92.57
	9	伊 達	4	53	54	1	0	77.70
室 蘭		4	43	44	1	0	86.07	
室 蘭 東		5	41	42	1	0	80.86	
室 蘭 北		5	34	34	0	2	99.41	
登 別		5	31	31	0	2	83.87	
洞 爺 湖		5	9	9	0	0	80.00	
小 計				211	214	3	4	84.65
10	函 館	4	87	87	0	0	78.84	
	函 館 亀 田	3	45	45	0	2	100.00	
	森	4	34	35	1	0	78.30	
	七 飯	4	16	16	0	0	77.10	
	長 万 部	4	10	10	0	0	85.00	
	函館セントラル	4	24	27	3	1	74.08	
	小 計			216	220	4	3	82.22
11	江 差	5	19	19	0	1	80.00	
	函 館 五 稜 郭	4	55	55	0	0	100.00	
	函 館 東	5	45	45	0	4	84.23	
	函 館 北	5	30	31	1	0	91.76	
	北 斗	5	19	18	-1	2	65.80	
	松 前	2	5	5	0	0	80.00	
	小 計			173	173	0	7	83.63
12	白 老	5	26	26	0	0	74.40	
	苫 小 牧	4	50	54	4	2	73.40	
	苫 小 牧 東	4	25	25	0	2	90.50	
	苫 小 牧 北	4	34	33	-1	2	94.46	
	小 計			135	138	3	6	83.19
合 計			2,816	2,853	37	98	86.64	

地区カレンダー（9月・10月）

9月 新世代のための月間	
1 (月)	
2 (火)	公式訪問 (伊達RC、室蘭北RC)
3 (水)	公式訪問 (室蘭東RC、登別RC)
4 (木)	公式訪問 (室蘭RC)
5 (金)	公式訪問 (洞爺湖RC)
6 (土)	
7 (日)	滝川RC創立50周年記念式典 (滝川) 第2グループIM (滝川)
8 (月)	公式訪問 (三石RC)
9 (火)	公式訪問 (浦河RC、様似RC)
10 (水)	公式訪問 (静内RC)
11 (木)	公式訪問 (えりもRC)
12 (金)	
13 (土)	第6グループIM (岩内)
14 (日)	第2830地区識字率向上セミナー (青森) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー (東京)
15 (月)	敬老の日
16 (火)	公式訪問 (千歳セントラルRC)
17 (水)	公式訪問 (恵庭RC)
18 (木)	公式訪問 (小樽銭函RC)
19 (金)	公式訪問 (札幌あけぼのRC)
20 (土)	第11回源流セミナー (札幌) 地区米山奨学生研修旅行 (小樽・二木)
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	秋分の日
24 (水)	公式訪問 (倶知安RC)
25 (木)	
26 (金)	函館北RC創立45周年記念式典 (函館) 公式訪問 (苫小牧RC)
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	公式訪問 (長万部RC、函館亀田RC)
30 (火)	公式訪問 (函館東RC、函館五稜郭RC)

10月 職業奉仕月間、米山月間	
1 (水)	公式訪問 (森RC)
2 (木)	公式訪問 (函館RC)
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	公式訪問 (札幌南RC)
7 (火)	公式訪問 (当別RC)
8 (水)	公式訪問 (札幌モーニングRC)
9 (木)	公式訪問 (苫小牧東RC)
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	地区大会記念囲碁大会 (札幌) 体育の日
14 (火)	公式訪問 (苫小牧北RC)
15 (水)	
16 (木)	公式訪問 (岩見沢RC)
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	公式訪問 (函館セントラルRC)
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
25 (土)	地区年次大会 (札幌)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	公式訪問 (白老RC)
29 (水)	公式訪問 (新札幌RC)
30 (木)	公式訪問 (千歳RC)
31 (金)	

●●●●● 地区大会記念行事へのお誘い ●●●●●

地区大会の記念行事として、囲碁大会とゴルフ大会を下記の日程で行います。普段はなかなか知り合える機会の無い、ロータリアンが趣味を介してお知り合いになれる絶好の機会です。是非多くの皆様の参加をお待ちしております。

また、地区大会当日のスパウス・プログラムも用意しておりますので、お誘い併せの上ご参加頂ければ幸甚と存じます。

地区大会登録後でも、記念行事への参加受付は行っておりますので、各クラブを通じて、大会事務局までお申込頂きますようお願い申し上げます。

囲碁大会	10月13日(月) 敬老の日 午後0時より 登録料 5,000円 日本棋院北海道本部囲碁会館にて
ゴルフ大会	10月24日(金) 午前7時30分スタート 登録料 10,000円 札幌南カントリークラブ 駒丘コース プレー代 7,000円
スパウス・プログラム	10月26日(日) 午前10時より 登録者は無料 北海道大学博物館見学、サッポロ海陽亭にて昼食 (インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、ROTEX、 米山奨学生、財団奨学生、米山・財団学友も参加できます)
■連絡先：地区大会事務局	〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階 国際ロータリー第2510地区 地区大会実行委員会事務局 TEL 080-3296-2510 FAX (011) 207-2512 e-mail: rid2510dcc2008@sc-ltd.co.jp

| 編 集 後 記 |

去る7月5日、矢橋ガバナーは意を決してローターアクトクラブ(RAC)の提唱クラブ会議を招集した。停滞気味のローターアクト(RA)活動に活を入れようとしたのである。内容はレポート(地区RA委員会)に譲るとして、当日赤平ロータリークラブの若林会長の話が一際目立った。即ち赤平市はタ張化を防ぐとして官民あげて再生化運動を行っている。為に土日の会合には仲々出席出来ぬとの事。今日も委員が出席不可能の為、一人参加したわけだ。市民を総動員し活動しているが人口減、不況感、等々でロータリークラブの増強もままならず、メンバー一同大変苦勞をしている。それに反し、ここ数年赤平RACの元気が良い。会員も増えている。その理由は市民あげてのボランティア活動に触発された若い人々の危機感の現れではないか。会やロータリーがしょぼくれ、若い人々の元気に勇気づけられているとの話に一同大きく頷く。これを聞いていた悪戯っ子曰く、今後RACがRCを提唱する現象が起こるのではないかと、一同大爆笑。

7月24日夕刻、編集会議も終わりに近付いた頃、突如札幌南RC事務局より遠藤正之PG逝去の報が入り一同慟然とする。就任以来、年度前10数回に及ぶ研修会合を行うに当たり、地区研修リーダーの遠藤正之PGの懇切な指導を受け、無事職責を果たしたところである。一番最近では4月開催の地区協議会では、熱心な

ご講演を拝聴したシーンを皆脳裏描いていたからである。後で聞き及んだところ、その時分には既に相当深く病魔に冒され、我慢の極に達していたという。

告別式はキリスト教会で厳粛に執り行われ多くの参拝者が出席した。そのときの神父による在りし日の遠藤正之PGの経歴の一端は我々の胸を打つものであった。一部を要約すると、遠藤正之PGは室蘭中学の校長を父に持ち、地元の室蘭工業大学に進んだが、うつうつとして1日とも心の安らぐ日は無かったという。青年らしい理想に燃え、自分の在り方はこれで良いのか、人の為に尽くすには何が出来るのかと自問自答の毎日であったという。結果として医学の道に進み、人の不幸を少しでも和らぐのが自分の使命であるとして札幌医科大学に入学し勉学に励むのである。学生時代、キリスト教に触れ入信、札幌北一条教会で洗礼を受け、キリスト教の青年医師団と無医村にバス診察の巡回に精を出す事になる。その後、同じ小児科医師仲間とポリオ撲滅の運動を展開。驚く事に後年、国際ロータリーが取上げるずっと以前にである。そんな若い青年医師時代の紹介があったわけだが、親しい交際をさせて戴いていた我々にも全く知らない事が多かった。それだけ遠藤正之PGは自慢話とも取られがちな事を我々に開陳する事もなく世を去った。

遠藤正之PGのご冥福を心よりお祈り申し上げます。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：共和町 神仙沼
撮影：村上 登 札幌西RC